

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームひだまり

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：2025年1月31日（金）14時～15時

会場：特別養護老人ホームひまわり園 大会議室

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	2人	高齢者あんしん支援 センター職員	0人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他			3人

（議題）

1. ひだまり入居者状況について（1月27日現在）

- ・入居者数～16名
 - 男性4名・女性12名
 - ※入居 1名（要介護4・男性・84歳）12/24
 - ※退去 3名（要介護3・女性・82歳）12/19 特養入所
 - （要介護5・男性・88歳）1/19 自宅へ（自宅での看取りを希望）
 - （要介護4・女性・89歳）1/21 死去
 - ※外泊 1名（要介護3・女性・76歳）1/8～
 - ※2/3に2名入居予定
- ・平均介護度～3.00
 - 要介護1（2名）要介護2（2名）要介護3（8名）要介護4（2名）要介護5（2名）
 - ※介護度更新1名：要介護3で変更なし
- ・平均年齢～87.08歳（男性88.75歳、女性86.44歳）
- ・移動手段について
 - 歩行（杖歩行含む）9名
 - シルバーカー・歩行器4名
 - 車椅子3名（うち介助3名）
 - ※歩行可能な利用者のうち、1名は車いす使用が増えている。その他にも場合によっては手引きが必要な方が増えている。
 - ※歩行器使用の2名は見守りが必要。
 - ※12月新入居の方、歩行器使用（見守り）。
- ・食事の摂取状況
 - 自立12名・見守り0名・要介助4名
 - ※要介助は2名が全介助、2名が一部介助。その他にも、日によっては一部介助が必要な方がいる。
- ・自分の部屋の理解
 - 分かる12名・たまに忘れる0名・分からない0名
 - ※自力移動可能な12名対象とする。新入居の方も理解されている様子。

2. 活動報告（12月～1月）（スライドを使用して活動の様子を紹介）

- お好みメニュー（12月11日）鍋料理
- クリスマス会&忘年会（12月23日）
- 初詣（1月）：長浜神社
- 新年会（1月20日）：ただもの会様による演芸あり
- 介護相談員来訪（12月4日）
- 県立大学看護科実習（1月7日～10日・14日～17日）

- 出雲養護学校実習（12月3日～6日）
- ポジショニング研修（12月2日・3日）
マールクッションの有効な使用方法の研修
- 総合防災訓練（1月17日）：特養別館
- 園内研修（12月13日・23日・1月14日・24日）
職員が一日通して、必須の研修を受ける

3. ひだまりの日常の様子（スライドを使用して報告）

- 家事（洗濯物たたみ、掃除、台拭きなど）
- レク（作品作り、パズル、風船バレー、体操、歩行訓練など）
- 面会
- 入居者同士の関わり
- 実習生受入

【意見交換より】 ※各報告途中での意見・補足等も含む

（ひまわり園副園長）

入居者状況の退去のところで、特養入所や自宅へとありますが、詳しく説明をお願いします。

（ひだまり）

自宅へとありますのは、自宅でのお看取りを希望されたためです。入居の際に、最期はどうされたいのかという話もさせてもらうのですが、この方は入居時から自宅でのお看取りを希望されていました。徐々に食事が摂れなくなり、ご家族や看護師、かかりつけ医とも何度も検討し、また帰宅後のサービスの体制を整えて、この日になりました。帰宅してから約1週間後に亡くなりました。ご家族はもう少し自宅で介護したかったという話もされていましたが、自宅で看取れたことを喜んでおられました。

（地域住民代表）

この方は入居されてどのくらいですか。

自分のことが分られましたか。

（ひだまり）

入居されて1年8か月でした。

ご自分のことは分かっておられました。名前を呼ぶと返事されていました。

職員としても、ご自分やご家族のことが分かれて、また、家で過ごしていることが分かれる状態で帰宅していただきかったので、良かったと思っています。自宅に帰られた日には、しばらく家の中を見回しておられたと聞きました。

（ひまわり園副園長）

また、退去されて特養入所とありますが、身体的な状況の変化で、ひだまりでの対応が難しくなり、特養へ入所される方もあります。

（ひだまり）

今回のこの方は、経済的な理由からご家族の希望で特養入所となっています。

（利用者家族）

本人さんの状態は変わりなくですか。

（ひだまり）

お変わりないです。ご主人様が亡くなられて、ご家族から経済的に不安があるとのこと相談をいただき、特養の空きを待って入所となりました。先日会いに行ってきましたが、お変わりなく過ごしておられました。

（市役所）

今待機の方はいらっしゃいませんか。

（ひだまり）

今、申し込みいただいているのは12名です。問い合わせは、もっと多くいただいています。病院からですと、すぐの入居を希望されることが多く、条件が合わず申し込みに繋がらないことも多いです。

（地域住民代表）

看護師さんは日勤ですか。夜間はどうなりますか。

（ひだまり）

日勤です。看護師は1名なので、休みの日は不在となります。休みの日や夜間は電話での対応となります。

（ひまわり園副園長）

活動報告内、新年会では演芸の方を招いて、披露していただきました。コロナ以降、こういった演芸の方も披露の場がないと話しておられました。いろいろな方に来て、こうやって披露していただくことで、皆

さんにも楽しんでいただいています。

(地域住民代表)

ポジショニング研修というのは、講師はどなたですか。とてもいい研修だなと思います。

(ひだまり)

今回の講師は、このクッションを作っているメーカーの方と、福祉用具を取り扱っている業者の方です。

(ひまわり園副園長)

ひまわり園ともつながりのある業者の方で、他にも排泄に関する研修なども行っています。専門家ですので、とても勉強になります。

(ひまわり園園長)

人によってはたくさん必要になるんですよね。

(ひだまり)

体形や拘縮の具合によって使い分けます。クッションの種類もたくさんあります。

(ひまわり園園長)

以前は拘縮が強く、手の指が手の平に食い込んでいたり、体がとても丸まっていたりした人を見かけましたが、今はそんな方はいませんね。こういうポジショニングが影響していると考えられます。

(利用者家族)

手を握っておられる方には、タオルやガーゼを握らせたりしていましたね。

(ひまわり園園長)

以前は、丸まったら伸ばすという対応をしていたと思うのですが、今は、いかに身体の力を抜いてあげるかという対応になっています。クッションの当て方ひとつにも、意味があるんですよね。

(ひだまり)

研修では、身体を伸ばすだけでなく、伸ばす・丸めるを交互にポジショニングで行うことにより、体の伸縮性が出て、拘縮が軽減されるという話を聞きました。

ひだまりでは今まで拘縮のある方は少なかったのですが、今では看取りを希望される方も増えてきていますので、こういった用具やそれにまつわる研修も必要だと考えています。

(市役所)

看取りの話がありましたが、入居の時に、看取りの希望とか、重度化されたときにどうされたいのかなど、確認しておられますか。

(ひだまり)

契約時に「重度化された場合の対応、及び看取りに関する指針」をお示しし、説明しています。その時にどうされたいかの希望は聞きませんが、具体例を示し、考えておいていただくよう伝えています。中には、その時から、希望を出される方もおられます。

(ひまわり園副園長)

入居時はお元気な方が多いですので、なかなか実感がわかないのが現状です。入居時といざという時ではまたご家族の状況が変わっていたり、考えに変化があったりしますので、その時々で適切な対応を取らせていただいています。

(入居者家族)

看取りの際に、家族が一緒にいることは可能ですか。

(ひだまり)

可能です。過去には泊まれた方もいらっしゃいます。コロナ禍では飲食等制限をつけさせてもらった時もありましたが、今は制限もありません。

(ひまわり園副園長)

グループホームでもそうですし、特養でも可能です。今は特養もすべて個室ですので、問題なく泊まっていただけます。

(利用者家族)

特養も全部個室ですか。

(ひまわり園副園長)

以前は多床室でしたが、建て替えを機に、すべて個室となっております。面会や看取りの時なども気兼ねなく過ごしていただけるのではないかと思います。

(市役所)

ご家族から何かあっても何もしなくていいと言われたが、有事の際にはAEDを使っても良いか、という問い合わせがあったことがあります。人として救急車を要請するなりの方がいいのではないかと返事したのですが、いかがですか。

(ひだまり)

緊急の場合は救急要請もしますし、AEDも使います。

(ひまわり園園長)

最終的にはどういう最期を迎えたいかになると思います。事前にご家族と話し合いをします。医師から老衰と診断された方が、息を引き取られる際には、蘇生措置を行わないことが多いです。明らかに老衰とは違う急性的な原因の場合は、当てはまらないこともあります。また、ご家族の気持ちも変わりますので、確認していくようにしています。

(有識者)

看取りの際に、ご家族と一緒に過ごされると聞いて驚いています。うちの施設では、そういったことはありません。

(入居者家族)

居室に入るのは、人数制限とかありますか。

往診されない医師の場合、どうなりますか。

(ひだまり)

人数制限はありませんが、そんなに広くはないので、限度はあります。今までは順番で泊まられていました。

往診される医師でないと、こういった取り組みは難しいかと思います。また、ひだまりに看護師がいることで、医師との連携や家族との連絡もスムーズになっていると感じています。

次回案内

日時…2025年3月28日(金) 14:00～15:00

場所…特別養護老人ホームひまわり園